

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 6

1968

日本港湾經濟学会編

序

経済発展にともなうわが国の港湾は、コンテナ輸送、地域開発、港湾労働等をはじめ、ターミナル・オペレーター問題や管理・経営の諸問題等本質的な課題に迫られている。このような時に、本年度は北海道において、第7回大会がきわめて充実したスケジュールのもとに開かれようとしている。

本号は、今年度大会における共通論題の一部と、昨年度の北九州・下関港における研究発表の成果を集録して、諸兄の御高批に供する次第である。これらの学的研鑽が現実の港湾問題の本格的な解決に役立つと共に、一方においては理論の形成と蓄積のための一里塚にならんことを願ってやまない。

終りに、賛助会員、正会員の諸兄をはじめ、その他本学会の発展に直接間接にご協力下さる多くの方々のあることを覚え、あらためて厚く感謝申上ると共に、今後のご尽力をもお願いする次第である。

昭和 43 年 夏

日本港湾経済学会会長 矢 野 剛

目 次

序	矢 野 剛
---	-------

研 究

港湾の近代化と運送の機械化	和 泉 雄 三 (1)
都市化と港湾の近代化	今 野 修 平 (14)
苫小牧港における専用船の実態	松 沢 太 郎 (30)
◇	
港湾の経済的性格に関して	柴 田 悦 子 (38)
ターミナル・オペレーションの経営的基礎	喜多村 昌次郎 (49)
——米国主要港との比較において——	
地方公営企業としての港湾整備事業	細 野 日出男 (62)
港湾とシテイ・プランの基本論	神 代 方 雅 (74)
貨物輸送史上における港湾	宮 野 武 雄 (86)
未来学成立の可能性	本 間 幸 作 (100)
——港湾論に関連づけて——	

文 献 紹 介

日本港運協会編『日本港湾運送業史』	寺 谷 武 明 (121)
松本好雄著「コンテナの輸送実務」	松 岡 英 郎 (126)
喜多村昌次郎著「輸送革新と港湾」	玉 井 克 輔 (131)
北見俊郎著「港湾論」	梶 幸 雄 (145)
B. Chinitz; Freight and the Metropolis.	武 山 弘 (149)
T. A. Smith; A Functional Analysis of the Ocean Port	山 本 泰 督 (156)

学 会 記 録

学 会 記 事	(163)
「港湾経済研究」総目次	(175)
編 集 後 記	